

「じじろ」6 Kの遺書「もつと早く」

Kの遺書には「もつと早く死ぬべきだのに」という言葉があった。この「もつと早く」というのはいつより早くなのか考えることによってKの自殺の理由を考えていきたい。

① 156下7 「いつも東枕で寝る私が、その晩に限って、偶然西枕に床を敷いたのも、何かの因縁かもしれない。」**○もつと早くこの時東枕にしていたらどうなっていたか？**

② 156下10 「見ると、いつも立て切つてあるKと私の室との仕切りの襖が、この間の晩と同じくらい開いています。」**○Kは何のために襖を開けておいたんだらう？どうして自室で自殺をしたんだらう？**

③ 「この間の晩（の日の昼間）」↓145上8 「やめてくれって、僕が言い出したことじゃない、もともと君のほうから持ち出した話じゃないか。しかし君がやめたければ、やめてもいいが、ただ口を先でやめたってしかたがあるまい。君の心でそれをやめるだけの覚悟がなければ。」**○君の心でその平生の主張をどうするつもりなのか。／＼私がかこう言つたとき、背の高い彼は自然と私の前に萎縮して小さくなるような感じがありました。……そして彼は突然『覚悟？』とききました。そうして私がまだなんとも答えない先に『覚悟、――覚悟ならぬことでもない。』とつけ加えました。彼の調子は独り言のようでした。また夢の中の言葉のようでした。」**○私の言つた「君の心でそれをやめるだけの覚悟」とKの言つた「覚悟ならぬことでもない」の「覚悟」の意味はそれぞれどういうものか？****

私の言つたもの……

Kの言つたもの……

④ 147上9 「私はほどなく穏やかな眠りに落ちました。しかし突然私の名を呼ぶ声で目を覚まし、間を見つめ、間の襖が二尺ばかり開いて、そこにKの黒い影が立っています。……そのときKはもう寝たのかとききました。……けれども彼の声は不断よりもかえって落ちていていたくらいでした。」**○この時のKの意図は何だと考えられるか？**

⑤ 157下13 「自分は薄志弱行で」**○「薄志弱行」とは何を指しているか？**

⑥ 157下14 「どうして行く先の望みがないから、自殺する」**○Kの「行く先の望み」とは何だったのか？**

⑦ 158下1 「最後に墨の余りで書き添えたらしく見える」**○「墨の余りで書き添えたらしく見える」字とは具体的にどういう字か？**

○最後に書き添える「文章」とはどういう文章か？

⑧ 158下2 「もつと早く死ぬべきだのになぜ今まで生きていたのだらう」**○「もつと早く」死んだらどうだったというのだらう？**

○「もつと早く」とは遅くともいつより早くか？

- A お嬢さんに会う前（道のために生きていたとき）《約一年前》
- B 自白した（お嬢さんに恋をしている）とき
- C 覚悟を決めた（「覚悟ならぬことでもない」と言つた）私KがKを策略にはめたときより前《約半月前》
- D 私とお嬢さんが婚約するよりも前《約十日前》
- E 奥さんから婚約の話聞かされたときよりも前《約三日前》

○Kが自殺したとき、「平生のK」のまま死んだのか、「平生ではない（新生のK）」のまま死んだのか？
 新生のK……人の思惑をはばからない
 平生のK……周りの目を気にする